

看護専門科目	広域発展看護学					
看護学科	必修	1単位	演習	平成30年度	後期	3年次
科目名	広域発展看護学実践論Ⅲ（在宅療養を支える看護）					
担当教員	◎奥田真紀子 高橋 晶 阿部奈理					
目的	在宅療養者と家族が住みなれた地域で生活することを支える訪問看護の基礎的な知識と技術を学ぶ。事例を通して、在宅療養者と家族が地域で生活する課題をアセスメントし、援助する基礎的な能力を養う。					
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅における看護過程の特徴を説明できる。 2. 在宅療養者と家族の療養生活の向上に必要な看護技術の留意点を説明できる 3. 在宅療養者と家族を取り巻くシステムを包括的に考察できる 					
他科目との関連	これまでに学習したすべての科目とつながり、広域発展看護学概論、広域発展看護学実践論Ⅰ・Ⅱ、保健医療福祉行政論と密接に関連する。さらに、広域発展看護学実習Ⅱと最も密接に関連する。					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	定期試験				0.5
	レポート	在宅看護実践演習レポート				0.1
	記録等	在宅療養者事例 看護過程実践記録				0.4
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	櫻井 尚子 「ナーシング・グラフィカ在宅看護論：地域療養を支えるケア 第4版」メディカ出版 2014					
参考資料	杉本正子、眞船拓子「在宅看護-実践をことばに」ヌーヴェルヒロカワ 2013 河原加代子編「系統看護学講座 統合分野 在宅看護論」医学書院					
備考 (受講上注意、 事前学習等)						